



教育目標

笑顔追求（腹栄中大好き）

文責 福島英士郎

1 インフルエンザ等に要注意と予防の徹底



本校でも今週の月曜に、1年2組のインフルエンザの罹患者が8名、発熱等の欠席2名となり学級閉鎖になりました。本日は、1年1組もインフルエンザの為、4時間授業で下校します。インフルエンザに罹患すると発熱・頭痛・全身倦怠感(けんたいかん)・筋肉痛などの症状がみられます。早めに病院に行き治療を受けましょう。帰宅後の手洗い、うがいの徹底をしましょう。土日の無用な外出はできるだけ避けましょう。

インフルエンザの出席停止期間について、
インフルエンザの出席停止期間：発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日を経過するまでです。早く熱が下がって、元気になったように見えても、他の人に感染させる可能性があるため、注意願います。

2 頑張れ受験生、みんなで君を応援している。祈る全員合格



3年生の進路を決定する高校入試が始まりました。1/14(土)に高川学園、1/17(火)に専修大学玉名、玉名女子、有明、1/19(木)に明豊、1/21に有明高専推薦、1/24に真和、学園大附属、ルーテル、国府、慶誠、文徳、誠修、大牟田、杉森の入試がありました。また、一部の学校では合格発表がありました。合格者はとても嬉しそうな表情でした。今後も私立の一般入試や公立の前期入試が控えています。

朝の冷たい空気の中、3年生は朝自習の時間から受験勉強に取り組んでいます。そんな3年生の後ろ姿を見ると、「頑張ってください。もう少しの辛抱ですよ。」と声をかけたくくなります。

3 新春書き初め大会・・・1/12(木)

新年を迎え希望に満ちた新たな気持ちを「書」に表現することを目的に書き初め大会を実施しました。最初に岱明町の書道家徳村剛山先生による書道パフォーマンスがあり、各学年や学校の抱負や期待を「書」で表現していただきました。



1年の書「洗心」：心を洗いきよめる。邪念をすてる。

2年の書「清真」：心が清く正しい。

3年の書「不如学」：色々と考えてみたが、何も得るところがない。やはり勉強するしかない。

腹栄中の書「勉」：力を尽くす。力が足りなくても努力する。

その後、生徒達は1年生が「栄光」、2年生が「雲海」、3年生が「創造」を書きました。書道指導に地域ボランティアの皆様より個別の指導を受けました。生徒達はとても真剣に取り組んでいましたので、お褒めの言葉を数多く聞かせて頂きました。生徒達の真剣な姿に、本校職員もとても喜んでいました。

書き初めの由来について

書き初めとは古来から続いてきたお正月の伝統行事で、もともとは宮中の一部の文人の行事から始まっていたと言われ、正月の二日に墨と筆という日本古来の筆記用具を使い新年の目標や座右の銘を書くというものでした。

後に明治時代頃になると学校教育で習字が必修科目となったため、書き初めが盛んになっていったと言われています。そして、正月の二日は仕事始めとされており、その昔の農家や商家ではこの日から仕事を始めていたそうです。この風習にならい新しい年の始まりに字を書いたり絵を書いたりする書き初めが広まっていきました。

一年の仕事始めとしてその年の抱負や目標などを書き、うまくいくことを願うという意味で行われています。

4 入試感想

○筆記試験は難しかったです。時間ぎりぎりでおわりました。面接はとても緊張しました。早口になってしまい印象が悪かったかもと不安でした。声が小さいと、何を言ったか聞き取れないので、元気な声で話さないといけないと思いました。下級生の皆さんへ、身だしなみ(リボン、スカート丈、髪の毛、靴下、スリッパ等)はきちんとしましょう。
3-1 佐藤愛結果さん

○受験はとても疲れました。試験中は時間を気にしたり、答案を何度も見直しました。すべての教科のテストが終わるまで、まったく気が抜けませんでした。面接は1番最初のグループだったので、とても緊張しました。また、別の中学生がとても面接が上手だったので焦りました。試験後、後悔したこともあったので、しっかり反省して次に生かしたいです。
3-2 田口彩奈さん